

## 第3回 笠間市立小中学校学区審議会議事録（第3回議事録）

日 時：令和6年8月22日（木） 午後7時00分～午後8時43分

場 所：笠間市役所教育棟2階 2-1・2-2

出席者：審議委員23名、事務局10名

### 1. 開会

### 2. 議事

**事務局**：審議に入る前に、資料の確認をさせていただきます。

- ・第3回笠間市立小中学校学区審議会 次第
- ・アンケート調査の結果について【概要版】
- ・グループ協議内容
- ・ピンクの用紙でグループ協議の流れを示した資料

以上が、本日使用する資料となります。不足している資料ございましたら、事務局までお申し出ください。アンケート調査の結果の詳細につきましては、お配りした i p a d から確認できます。資料の不足や、i p a d の操作について不明な点がございましたら、事務局までお申し出ください。

なお、ご発言につきましては、議事録の作成の都合上、マイクを使つての発言にご協力をお願いいたします。

それでは、ここからの会議については、学区審議会条例の「第5条 第3項」の規定により、会長が会議の議長となって進行いただきます。石井会長、よろしくをお願いいたします。

**会長**：はじめに、前回審議会でもご説明いたしましたとおり、本審議会の内容は特別の事情がない限り公開としております。今後の学区審議会についても引き続き公開で実施していきたいと思っております。なお、議事録についても個人名は出しませんが、すべて公開とさせていただきます。それでは、さっそく議事に入らせていただきます。(1)「アンケート調査の結果について」、事務局でお願いします。

**事務局**：アンケート結果について説明させていただきます。i P a d に表示されているアンケート調査の報告書が全部で120ページ超あります。i P a d に関しては、ご質問等あれば後ほど事務局のほうで操作させていただきますので、お気軽にお声がけください。私からは、アンケート調査結果の概要について説明いたします。アンケート調査結果版の1ページをご覧ください。まず、「小学校の各学年の規模はどの程度が望ましいか」のアンケート結果です。アンケートの種類は7種類あり、子ども、保護者、教職員、一般市民、学校運営協議会の方に調査をした結果の集計です。傾向として、2学級以上3学級以上の複数学級がいいという回答が多くあります。2ページをご覧ください。こちらは「中学校の各学年の規模はどの程度が望ましいか」のアンケート結果です。圧倒的に3学級以上が望ましい、という認識を持っているようです。

3 ページをご覧ください。「複数の学年で授業をする複式学級になることについて、どのように考えますか」のアンケート結果です。過半数は、複式学級以外の対策を考えたほうがよい、という回答です。児童生徒の回答では、学習に遅れが出そうで不安に思うという回答が18%強あり、複式学級に何かしらの不安を感じているという結果になりました。

4 ページをご覧ください。「小中一貫校についてどのように考えますか」のアンケート結果です。賛成、どちらかという賛成、どちらでもよいの回答を合わせると7割以上となり、反対の意識は持っていないということがわかります。

5 ページをご覧ください。「あなたの居住、勤務、所属する小学校について、統合が必要だと思いますか」のアンケート結果です。70%以上が不要という結果です。

6 ページをご覧ください。「あなたの居住、勤務、所属する中学校について、統合が必要だと思いますか」のアンケート結果です。こちらも70%以上が不要という結果です。

7 ページをご覧ください。「小学校において特に重要と考える教育条件や通学条件」のアンケート結果です。こちらの回答は拮抗していますが、1番多かった回答は「学習環境が整っていること」となっています。続いて多かったのが、「校舎環境が整っていること」です。

8 ページをご覧ください。「中学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件」のアンケート結果です。傾向としては、小学校と大きな違いはなく、概ね「学習環境が整っていること」という回答です。

詳細のデータですが、お手元の iPad にアンケート結果の詳細の報告書が出来上がっています。ページ数が膨大になっていますので、こちらをご確認いただいたり、本日の会議が終わりましたら、ホームページに掲載いたしますので、携帯電話等でご確認いただければと思います。また、会議資料は毎回こちらの iPad を準備しますので、アンケート結果については毎回確認できるよう手配していきます。説明は以上です。

**会長：**ご説明ありがとうございました。まずは、これだけの資料を概要版という形でまとめていただきましてありがとうございました。このあと、この概要版をもとに協議と思いますが、ただいまの事務局の説明に対しご質問、ご意見はございますでしょうか。

**各委員：**(質問、意見なしの声あり)

**会長：**次に、(2)「グループ協議について」について、事務局で説明をお願いします。

**グループ協議総合司会：**ただ今のアンケートを踏まえて、10年度の笠間市の学区について考えようということで、グループ協議に移りたいと思います。はじめに、ルールを説明します。

1. 安心・安全な発言の場です

- ①立場や役職、年齢を越えて、公平・平等な関係で話しましょう
  - ②途中で口を挟まず、否定しないで最後まで聞きましょう
  - 2. 今日の主語は「子ども」です
    - ①10年後、20年後の子どもたちの学びが充実することを第一に考えましょう
    - ②様々な角度からじっくりと話し合い、アイデアを出し合ひましょう。
  - 3. 詳細は、各グループの司会に任せます
    - ①予定している時間に沿って進めましょう
    - ②しゃべりすぎないように、そして黙りすぎないように
- 各グループの司会の方、挙手をお願いします。

詳しい手順は、手順～話し合いの進め方（前半）、手順～話し合いの進め方（後半）として設定しました。

手順～話し合いの進め方（前半）

- 1. まず個人の考え方を書きます（10分）
  - ①1枚の付箋に、1つの考え方を書きます
  - ②できるだけ、短い言葉のほうが整理しやすいです
- 2. つぎに、グループで共有します（10分）
  - ①順に発言しましょう
  - ②理由があれば添えましょう
- 3. そして、話し合いながらグルーピングをします（15分）
  - ①模造紙に整理します
  - ②意見をまとめていきましょう

手順～話し合いの進め方（後半）

- 4. 途中で視野を広げましょう（10分）
  - ①ほかの班の途中経過を聞きます
  - ②二手に分かれて、ほかの班の意見を聞きに行きます。
- 5. 休憩・雑談（10分）
- 6. さらに話し合いを続けましょう（10分）
  - ①今日の目的とルールを再確認しましょう
- 7. 最後に、まとめをしましょう（20分） ※5分×3班＋会長総括5分
  - ①班ごとに、司会者が中心になって発表します

詳細については、司会の案内に従ってください。  
ここでグループ協議を活発化するために、まず簡単な自己紹介をテーブルごとに行ってください。名前、出身地、小学校中学校のよい思い出を簡単に言ってください。司会の指示に従って、3～4分お願いします。

このあとは手順に従って、グループの司会の方に任せます。

（グループ協議開始）

話は尽きませんが、一度席にお戻りください。それではここで、視野を広げるための工夫をしていきます。まず、グループで何を話したのかというのをダイジェストで司会の方に説明してもらいます。その後、グループ二手に分かれてもらって、ほかの班の状況を見に行ってください。それでは、笠間地区、友部地区、岩間地区の順に1分程度でお願いします。

<笠間地区意見発表>

- 10年後どのようになってほしいという付箋がたくさん出ました。
  - ・生徒数が増えるといい
  - ・オンライン通学が認められるといい

- ・生徒が学びやすい学校
  - ・通学時間について
  - ・地域との関わりがもっと深くなればいい
  - ・給食費が無償化になればいい
- 整理まではいっていませんが、以上です。

〈友部地区意見発表〉

学校学級施設の意見が出ました。1番多かったのは給食についてで、おいしい給食がいいなということです。また、アンケートで意見をいただいた通り、やはり複数学級がいいということで、地区の人数、いわゆる学区の編成を見直してもいいのではないかという意見が出ました。以上です。

〈岩間地区意見発表〉

主に3点くらい出ましたが、1番中心だったのが「場所」の話です。子どもたちの場所が今後どうなっていくのだろうということです。最近外で遊ぶ姿も見なくなり、バーチャルなところでやって、人間関係はどうなっているのだろう。PTAや保護者の活動もそうなのかもしれない。やはり、安心安全をきちんとさせたい、でも多様性も担保したいというところで様々な考えが出てきています。

**グループ協議総合司会：**8時10分まで休憩、その間にほかの班の協議内容を見に行ってください。その際は、司会の3人が説明をしますので聞いてください。

(休憩)

**グループ協議総合司会：**それでは引き続き協議を続けてください。司会の方、8：20までお願いします。

(グループ協議開始)

**グループ協議総合司会：**充実した議論をありがとうございました。大きな拍手をお願いします。それでは、笠間地区から順に2～3分程度でまとめをお願いします。

〈笠間地区発表〉

学区について考えようということで、様々な意見が出ました。まず友達との距離間ですが、友達と遊びたくても家同士が遠いため、家の人の協力がないと遊ぶことができないという現状の中、コミュニケーションを大切にしながら、学校でのより良い教育活動、体験活動を含めたものが充実していくといいのではないかという話が出ました。また、通学路について、草のために歩きにくいところがあるので整備されるといいのではないか、通学で路線バス・スクールバスを使っている学区なので、路線バスが増えるとさらにいいのではないか、ひいては通学方法の自由化ということが学区の中で必要になってくるのではないかということです。ほかには、10年後の学校を考えたとき、設備の老朽化が考えられるので順次設備が整えられ、快適な中で子どもたちが学びを深められる施設であるといいという意見が出ました。以上です。

〈友部地区発表〉

学区の見直しについて話し合いました。現在、大原小学校が単学級となっていて、この先複式学級になる懸念もあり、例えば、笠間小学校の学区になっている池野辺地区、大橋地区（大原小学校北側）が、人数は多くありませんが、大原小学校に行けるといいのではないかという意見が出ました。理由の一つとして、現在この二つの地区はスクールバスで笠間小学校に通学していますが、大原小学校の近くを通っ

て笠間小学校に向かっていますので、そこを少し見直せばいいのではないかと、逆に、大原小学校もスクールバスにすれば、通学の安心安全が確保できるのではないかという意見が出ました。あと、南友部地区に学区に属していないという調整区域があります。そういうところも、例えば笠間小学校の学区の見直しと同時に、ある程度編成を見直してもいいのではないかという意見が出ました。ただ、そうなっているのは今までの積み重ねの歴史があつてのことだと思ふのですが、10年後、20年後の子どもの未来を考えると、そうも言ってもらえないのではないかと、大原小学校なども特色を出しながら学区の編成を見直していく必要があるのではないかと、という意見でした。以上です。

#### 〈岩間地区発表〉

それぞれ交流した後の意見を発表します。子どもたちは、給食や休み時間、部活動時間を楽しみに来ているけれど、10年後、20年後の学校を考えたときにはどうなっているのかということ、すでに部活動などは、市内だけでなく市外の学校と合同チームを作っているという例があるという話が出ました。このことに対して子どもたちは、さほど抵抗感を持ってなく、同じ部活をやっているのだから同じ仲間であると、子どもたち自体の意識も変わっているのではないかとということです。確かに、一つの学校の代表として出られない寂しさはあるけれど、子どもたちの意識がそのように変わってきているのであれば、学区の編成の考え方も変わっていくべきではないという話になりました。以上です。

**グループ協議総司会:**ありがとうございました。それでは、荒川副会長、石井会長より総括をお願いします。

**副会長:**各地区の皆さんが和やかに笑顔で、そして拍手がでたりして協議が楽しく進められたことがとてもうれしく思います。いろいろなご意見をいただき、10年後の子どもたちのことを中心に考えていただけてとてもよかったです。友部地区の学区の編成が出ていたようですが、現在学校を選べる地域（南友部）では、どちらに行ったらよいか迷っている方もたくさんいると思います。子どもたちのためには、はっきり区別をしてあげたほうがいいのかなという考えが頭をよぎりました。そういうことで、10年、20年後の笠間市の子どもたちの未来が見えてきたのかなと思いました。

**会長:**まずは皆様お疲れさまでした。話し合いをするということは一番疲れることです。前頭葉を使うといわれ、教員では面談が一番疲れます。そこを皆さんが教育ということテーマに話し合われた。さすが笠間。あちらこちらで自慢したいと思います。特によかったと思うのは、出てきた課題に対してダメだということだけでなく、このような方法があるのではないかという意見も出てきているところが素晴らしいと思いました。

私事ですが、今週と来週、茨城大学の農学部と工学部で集中講義があり対面で授業をおこなっています。月曜火曜は阿見、木曜金曜は日立に行きます。阿見のほうは5名、日立のほうは30名近くいます。5名の阿見は、少人数で手厚く指導ができると思っていたのに、話し合いが進まず時間が足りなくなりました。1つのグループなので意見の交流ができないわけです。日立のほうは、3グループ作ったので、グループごとに発表して、もう一度ほかのグループの考えを入れてみようということができる。単純に、少人数だから手厚くできていいとは言えないということを実感してきました。

その中で、皆さんから多様化と個別最適化という言葉が出てきましたが、何のための個別最適化の多様化なのかといったとき、本日のテーマである10年後の学区、その10年後の学区を卒業した子供たちが大人になったときにどうなったほしいのか、というところを考えなくてはいけないのだと議論を聞きながら思いました。

学生たちに、「私が年を取ったときに面倒を見てもらうのは、君たちが育てた子どもたちだよ、その子どもたちが年寄なんて知らないと言ったらどうする？どこかに捨てられちゃうよ。」そうなるのとどのようになっているのかがいいかと言ったとき、個人の利益はいろいろありますが、やはりどういう大人になってほしいのかという視点もこれから考えていかなければならないのかなと思います。特に多様化のところでは、学生からインクルーシブな話が出ました。

トム・クルーズさんは識字障害を持っていますが、素晴らしい演技をされます。台本を全部録音してもらって、それを何度も聞いて、自分の演技にしています。それがもともとの多様化であり、個別最適化で、個々にあった指導だと。ところが今は、優秀な子のほうに行ってしまうています。本来はがみんなが同じようにというところなので、そこもこれから議論されていくのではないのでしょうか。私はこれだけの大人が集まって、未来の子供たちがどうあるべきかと話し合う筈間はすごいと思います。もう少しわがままな意見が出てくるかなと思っていましたが、そうではなく、子どもたちのためにと話し合える素晴らしい地区だと、心から思いました。この後、いろいろな議論が活発に行われると思いますが、今日のこの感じを忘れずにつなげていければいいかと思います。以上です。

**グループ協議総司会**：改めて、ありがとうございました。それでは、司会を議長にお返しします。

---

**会長**：次に（3）その他について事務局からお願いします。

**事務局**：次回の日程について説明します。今回は、令和6年9月19日木曜日午後7時から、第4回の審議会を開催させていただきます。場所はこちらの会場を予定しています。以上です。

**会長**：それでは、長時間にわたり、特に今日はグループワークということで皆さんお疲れになってるところだと思いますので、ご審議をいただきありがとうございました。本日の議事進行が滞りなくできたことに、感謝申し上げます。以上をもちまして、議長の職を解かせていただきます。

**司会**：ありがとうございました。委員の皆様におかれましてはグループ協議での様々な御意見を頂きましてありがとうございました。頂いた御意見は、今後の学区の考え方につなげていきたいと考えております。それでは、以上を持ちまして「第3回 笠間市立小中学校学区審議会」を終了させていただきます。遅くまでありがとうございました。